

## アスベストの状況

### (1) 概要

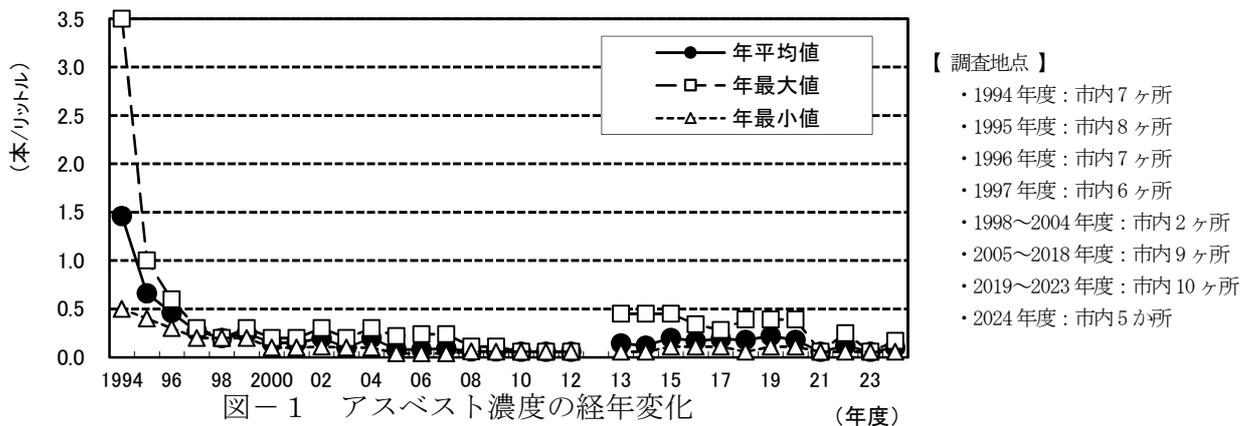
- 神戸市では、阪神淡路大震災後の1995年1月より、大気中のアスベスト濃度を測定しており、2012年度まではクリソタイル総繊維数濃度、2013年度以降は総繊維数濃度を測定している。

### (2) 調査結果

- 一般大気環境中のアスベスト濃度の環境基準は設定されていないが、測定した全5地点で、一般の大気環境と同程度の石綿繊維数濃度（1本/L程度）を下回っていた。

表－1 2024年度の大気中のアスベスト濃度測定結果（単位：本/L）

測定地点	2025年2月
東灘一般局（東灘区）	0.11
長田一般局（長田区）	<0.056（検出下限値未満）
垂水一般局（垂水区）	0.11
南五葉一般局（北区）	0.056
中部自排局（中央区）	0.17



(注)・2021年度、2023年度は全て0.056本/L未満である。

・2012年度まではクリソタイル繊維数濃度、2013年度からは総繊維数濃度での経年変化を表示している。